

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025 年 5 月 29 日

国土交通省港湾局長 殿	有限会社山本建設工業
所 在 地	〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津 6978 番地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 山本昭博
担 当 者 連 絡 先	電 話：0969-56-0539
	メー ル：m.kawabata@yamamotokk.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 54 年に創業し、海洋・港湾土木工事及び陸上土木工事の請負事業を実施している。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・ オフィス電力の太陽光エネルギーへの電力 転換 ・ CO2 排出量削減 ・ 地域貢献活動実施	・ 太陽光エネルギー使用率目標 【現状】 0% 【目標】 70% ・ CO2 排出量 【現状】 993, 031kg-CO2 【目標】 958, 275kg-CO2 ・ 実施件数 【現状】 年間 4 回 【目標】 年間 6 回
✓環境 □社会 ✓経済	・ エコアクション 21 の認証・継続 ・ 雇用促進 ・ 熊本県ブライト企業認定	・ エコアクション 21 認証（2020 年取得） 【現状】 更新継続 【目標】 更新継続 ・ 新規採用数 【現状】 2 名 【目標】 3 名 ・ 認定取得 【現状】 未認定 【目標】 認定
□環境 ✓社会 ✓経済	・ 従業員の積極的な能力開発教育・資格取得機 会の提供 ・ 有給休暇取得推進	・ 従業員基本資格取得率 【現状】 40% 【目標】 50% ・ 有給休暇取得率 【目標】 10%増（2024 年度比）

(次項へ続く)

(様式第2号)

企業・団体名(有限会社山本建設工業)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																					
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・差別のない雇用条件や職場環境を徹底し、各種ハラスメント防止を就業規則に明記することで、安心して働ける環境づくりに取り組んでいる。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則に差別や各種ハラスメントの禁止を定め、ハラスメント防止に積極的に取り組んでいる。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・残業時間の管理や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組みを行っている。										8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人を2名雇用しており、業務運営や昇進・昇格において人種や性別による差別的待遇はなく、多様な人材の採用に積極的に取り組んでいる。						4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・従業員の健康チェックや安全確認を徹底し、健康診断の経費補助を実施している他、AEDを完備し、安全グッズや空調服を全員に配布している。 ・KY活動の実施や、従業員も対象の法人保険に加入させるなど、従業員の安全と健康を守るための取り組みを行っている。						3				8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・労働者のメンタルヘルス維持のため、相談窓口の設置や支援体制の整備を行うとともに、風通しの良い職場環境づくりにも取り組み、心身の健康をサポートしている。						3												
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はなく、外国人を2名雇用する等、多様な人材が活躍できる環境整備に取り組んでいる。							5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・研修体制の整備や資格取得費用の支給を通じ、外部研修の受講や資格取得を推進している。 ・現場OJTを含む学びの環境を提供し、従業員には資格取得までの手厚いサポートを実施している。						4	5.5			8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・同一労働同一賃金ガイドラインを順守し、従業員（正社員・臨時労働者）の公正な待遇を行っている。							5.5			8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康診断の経費補助を行う他、毎日の始業時に従業員の健康チェックや安全確認を徹底的に実施する等、安全で働きやすい環境づくりに取り組んでいる。						3					8							

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
環 境	11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる										11.6	12.4 12.5		14.1				
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている						7.3						13					
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている						7.2 7.3					12.4	13.3					
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9		6.3				11.6	12.4							
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6								15			
	16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6											
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
	18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6						
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる						7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製 品 ・ サ ー ビ ス	21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9							12.4							

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・本業である浚渫工事や覆砂工事、港湾土木工事において、環境負荷を低減する取り組みを行っている。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・浚渫工事、覆砂工事、港湾土木工事などの本業を通じ、その技術を活かして、災害時（台風時には倒木の対応やゴミの清掃を実施）の復旧活動にも積極的に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・工事の際には地域住民へ周知文書を配布し、情報共有を行っている。 ・自治体からの業務委託による管理業務を定期的に受注し、海洋環境の保全に適切に対応している。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・災害復旧等の活動には率先して参画している。 ・地球規模又は地域が抱える課題解決のため、寄附や活動への参加を行っている。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・地産地消を心がけ、地域で生産された資源や製品を優先的に取り入れる事により地域経済の活性化に貢献している。								8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェ ック 項 目	具 体 的 な 取 組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	組織体制 【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・熊本県SDGs登録企業として、SDGs達成に向けた経営理念や目標を社内勉強会などを通じて従業員に共有し、取り組みを積極的に発信している。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・現場の掲示板等で、法令遵守の重要性を、従業員に向けて発信している。 ・法令遵守のもと、業務開始前に安全確認を行っている。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・各分野の責任者（担当役員）を選任し管理を行っている。 ・SDGs委員会にてバリューチェーン分析を実施し、自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす影響（可能性）を把握している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・地元の学校や生産者、地域との連携に注力しており、地域貢献活動参加や地域の消防団の加入等、地域社会との共生に取り組んでいる。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・熊本地震・水害の経験を踏まえ、緊急連絡網を作成している他、 ・【予定】事業継続力強化計画の認定を取得予定である。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。） ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。
--